

- 問1 安土桃山時代に太閤検地や刀狩を行い、兵農分離を推進した人物は誰？
- 問2 宗教改革後、キリスト教を広めるために日本へ派遣されたイエズス会の宣教師は誰？
- 問3 ルネサンスの中で注目され、中世の神中心の考え方から大きく変化した、個人の価値を認める考え方を何という？
- 問4 安土城など、近世の城郭に特徴的な、城の中央に高く建てられた建造物を何という？
- 問5 安土桃山時代に、商工業の活性化や物資の流通を円滑にするため、各地の関所を撤廃する政策を行った武將は誰？
- 問6 豊臣秀吉が1590年に征伐し、全国統一を達成する最後の決め手となった関東の大家を何という？
- 問7 足利義昭が織田信長との対立によって追放された都市はどこ？
- 問8 16世紀に船隊を出し、人類史上初めて世界一周を達成した船隊を援助した国はどこ？
- 問9 15世紀末に南北アメリカ大陸に到達し、ヨーロッパによる新大陸の探検や征服のきっかけを作った人物は誰？
- 問10 織田信長や豊臣秀吉の時代に、大名や豪商の富を背景に栄えた文化を何という？
- 問11 織田信長や豊臣秀吉の時代に活発に行われた、ポルトガルやスペインなどとの外国貿易を何という？
- 問12 マゼラン艦隊が世界一周の航海に出発した年はいつ？
- 問13 ルネサンスにおいて復興させようとした、ギリシャやローマの過去の文化を何という？
- 問14 バテレン追放令が出された後も、豊臣秀吉が継続を認めた貿易を何という？
- 問15 1519年に世界一周の航海に出発した人物は誰？
- 問16 喜望峰経由の航路が開拓されたことで、ヨーロッパと直接貿易ができるようになった地域はどこ？
- 問17 検地によって解体された、中世からの複雑な土地制度を何という？
- 問18 織田信長によって擁立された、室町幕府の最後の将軍を何という？
- 問19 安土桃山時代に、千利休が大成させた、静かな空間で茶を楽しむ様式を何という？
- 問20 豊臣秀吉が全国を統一するために行った、土地の調査や生産力の把握を目的とした政策を何という？
- 問21 全国の土地を調査し、支配体制を強化した人物は誰？
- 問22 インドへの航路開拓を目指し、アフリカ大陸南端の地を拠点とした国はどこ？
- 問23 安土桃山時代に大名や豪商の富を背景として栄えた、豪華で力強い文化を何という？

## 答え合わせ・解説

|     |              |                                                                                                                                                                                 |
|-----|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え<br>豊臣秀吉   | 豊臣秀吉は、全国の土地の広さや生産力を調査する「太閤検地」を行いました。また、農民から武器を取り上げる「刀狩」を実施し、農民が武器を持つことを禁じました。これにより、武士は城下町に集まり、農民は村で耕作に専念するという「兵農分離」の体制を確立しました。                                                  |
| 問2  | 答え<br>ザビエル   | ザビエルはスペイン出身の宣教師で、インドを経て1549年に日本の鹿児島へ到着し、キリスト教を初めて伝えました。当時の日本は戦国時代で、各地の大名も南蛮貿易による利益を求めて宣教師を保護しました。                                                                               |
| 問3  | 答え<br>人間性    | ルネサンスにおいて、人間は本来自由で創造的な力を持つ存在であるとする「人間中心主義」が提唱されました。個人の能力や美意識を重視するこの思想は、絵画、彫刻、文学といった分野で独自の個性を表現することにつながりました。                                                                     |
| 問4  | 答え<br>天守     | 天守は城のシンボルとして、遠くからでも見える高い場所に建てられました。織田信長が築いた安土城の天守は、非常に豪華で独創的な外観を持ち、後の近世城郭の基準となりました。                                                                                             |
| 問5  | 答え<br>織田信長   | 織田信長は、領国内の流通を活性化させるため、この関所を撤廃する政策を断行しました。さらに、座を解体して営業の自由を認める「楽市・楽座」を行い、経済の発展を促しました。                                                                                             |
| 問6  | 答え<br>北条氏    | 豊臣秀吉は天下統一を目指し、全国の名目を従わせていきました。1590年、小田原城を拠点に勢力を誇っていた北条氏を討つために大軍を派遣しました。この小田原攻めにより北条氏が滅亡したことで、秀吉による実質的な全国統一が達成されました。この出来事は、戦国時代が名実ともに終わりを告げた象徴的な出来事として歴史に記録されています。               |
| 問7  | 答え<br>京都     | 足利義昭は、織田信長を頼って京都に入り、幕府の再興を目指しました。しかし、信長の強大な権力を前に、義昭は傀儡（かいらい）であることを拒み、両者の関係は決定的に悪化しました。結果として、義昭は京都から追放されることとなりました。                                                               |
| 問8  | 答え<br>スペイン   | マゼランはスペイン王カルロス1世の支援を受けて、西回りでアジアを目指す航海に出発しました。南米の海峡（現在のマゼラン海峡）を抜け、太平洋を渡る過酷な航海を経て、1522年に残りの船がスペインへ帰還しました。                                                                         |
| 問9  | 答え<br>コロンブス  | イタリア出身のコロンブスは、スペイン王室の支援を受けて西回りでインドを目指し、1492年にカリブ海の島々に到達しました。彼自身は最後までそこをインド付近だと信じていたといわれています。                                                                                    |
| 問10 | 答え<br>桃山文化   | 桃山文化は、大名や新興の豪商の財力を背景に、極めて華やかで壮大なのが特徴です。代表例として姫路城などの城郭建築、狩野派による障壁画、千利休が完成させた茶の湯などがあります。                                                                                          |
| 問11 | 答え<br>南蛮貿易   | 大航海時代の到来により、日本へキリスト教とともにヨーロッパの商人が渡来しました。彼らとの間で行われた南蛮貿易では、鉄砲や火薬、ガラス製品などが輸入され、日本の産業や生活に大きな影響を与えました。この貿易の利益は、当時の大名たちにとって大きな財源となりました。秀吉がキリスト教を厳しく制限しながらも、貿易を完全には禁止できなかった重要な理由の一つです。 |
| 問12 | 答え<br>1519年  | 1519年9月、マゼランはスペイン王カルロス1世の支援を受けて、5隻の船と約270名の船員を率いて出航しました。大西洋を渡り、南アメリカ大陸を迂回して広大な太平洋を横断するという、当時の技術では極めて困難な挑戦でした。                                                                   |
| 問13 | 答え<br>古典文化   | ルネサンスでは、それまで顧みられていなかった古代ギリシャ・ローマの文学や哲学、美術を再発見し、そこにある「人間らしさ」を学び直そうという動きが起こりました。これは単なる模倣ではなく、新しい表現を生み出すためのエネルギーとなりました。                                                            |
| 問14 | 答え<br>南蛮貿易   | 豊臣秀吉はキリスト教の布教は禁じましたが、経済的利益を考慮し、ポルトガル船などの来航と南蛮貿易自体は許可し続けました。これにより長崎などを拠点に、日本とヨーロッパの活発な交流が維持されました。                                                                                |
| 問15 | 答え<br>マゼラン   | マゼランは5隻の船団を率いてスペインを出港しました。南アメリカ大陸南端の海峡を抜けて太平洋を横断するという過酷な航海でしたが、彼の船団は世界で初めて地球を一周しました。なお、マゼラン自身はフィリピンでの争いで命を落としたため、帰還したのは部下のエルカーノらわずか1隻の船でした。                                     |
| 問16 | 答え<br>アジア    | 喜望峯を通るルートの発見により、ヨーロッパの商船は直接アジアの港に寄港できるようになりました。これにより輸送コストが下がり、効率的な物流網が構築されました。                                                                                                  |
| 問17 | 答え<br>荘園制度   | 豊臣秀吉は、こうした古い階層的な土地所有関係を否定しました。土地ごとに耕作する農民一人を名主（なぬし）として登録し、その農民が年貢を納める責任を持つ「一地一作人」の原則を打ち立てました。これにより、貴族や寺社の特権的な収益は失われました。                                                         |
| 問18 | 答え<br>第15代将軍 | 足利義昭は、織田信長を頼って上洛し、第15代将軍に就任しました。しかし、信長の意向に従わなかったため、後に信長と激しく対立することになります。                                                                                                         |
| 問19 | 答え<br>わび茶    | 千利休は、限られた道具の中で心の交流を大切にする「わび茶」を完成させました。質素ながらも洗練された美意識は、当時の戦国武将たちの間でも高く評価されました。                                                                                                   |
| 問20 | 答え<br>太閤検地   | 太閤検地では、全国統一の尺度を統一し、土地の面積と収穫量（石高）を調査しました。これにより、年貢を誰からどれだけ徴収すべきかが明確になり、支配体制が強固になりました。あわせて「刀狩」を行い、武士と農民の身分を分離したことで、安定した社会構造を作りました。                                                 |
| 問21 | 答え<br>豊臣秀吉   | 豊臣秀吉が全国で行った「太閤検地」は、土地の広さを一律の基準で測り、米の収穫量を「石高（こくだか）」として計算する調査です。これにより、誰がどれだけ収穫を得られるかを明確にし、確実に年貢を集める体制を確立しました。                                                                     |
| 問22 | 答え<br>ポルトガル  | ポルトガルは国家事業としてアフリカ西岸の探検を支援し、インドへ直接向かうルートを模索しました。その結果、アフリカ南端の喜望峯を経由してインドへ至る航路が発見され、ポルトガルはアジア貿易の覇権を握ることになりました。                                                                     |
| 問23 | 答え<br>桃山文化   | 桃山文化は、大名や豪商の経済力を背景に発展した、華やかで力強い文化です。城郭建築が盛んになり、内部には狩野派による豪壮な障壁画が描かれました。茶の湯が武士のたしなみとして定着し、千利休によってわび茶が完成するなど、文化の幅が大きく広がったのもこの時代です。                                                |